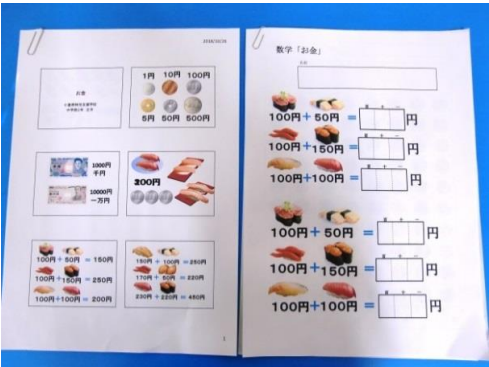


番号	教材教具名	教材教具の写真①	使用目的・使用方法等(展示カード)	教科領域等	学部
1	絵と絵の マッチング		<ねらい> 身近な物の絵カードを見て、同じ物の絵カードを選び、マッチングさせながら物の名前を覚える教材です。 <使用法> ・上にある絵の名前を復唱させ、同じ絵カードを選ぶようにして、物の名前の定着を目指しました。	国語	小学部
2	ひらがな・カタカナ (50音表)		<ねらい> 平仮名、片仮名を覚えるために楽しみながら言葉の構成ができるようにしました。 <使用法> ・自分の好きな身近な物の名前前の絵カードを選びます。 ・平仮名・片仮名の表から物の名前前の文字チップを見つけて貼っていきます。 ・文字チップを並べたら声に出して読みます。 ・文字チップをもとの場所に戻して終わりです。	国語	小学部
3	文を作ろう		<ねらい> 助詞の使い方の練習ができるように考えました。 <使用法> ・絵を見てチップを選び文を構成するようにしました。青枠が名詞、黒枠が助詞、赤枠が動詞で、選びやすくしています。 ・チップを選んで上手にできるようになったら、自分でホワイトボードに記入して文を書けるようにしました。	国語	小学部

4	漢字読みカード (1年生の漢字)		<ねらい> 漢字の読みの導入として作りました。書くことを好まない児童でも取り組めることをねらいました。 <使用法> ・漢字の読みを確認し、平仮名のカードを貼ります。台紙の裏に書いてある二語文を読む練習をします。	国語	小学部
5	正しい文章をつなげよう		<ねらい> 助詞の活用がまだ不十分な生徒を対象に、「ひと」や「場所」「もの」「動詞」を正しくつなぐ助詞の使い方を身につけられるようにしました。 <使用法> ・「ぼく 教室 入る」というように文章を作って生徒に示します。□は使う助詞によって色分けしてあるので、はじめは助詞に貼ってあるシールと□の色のヒントを得ながら学習ができます。 ・「ひと」や「場所」をランダムに選ぶことで、生徒が文章作りを楽しみながら取り組むことができます。	国語	中学部
6	ていねいな言葉を使おう		<ねらい> 小学校3・4年生を対象にした言葉の教材です。学校や地域、家庭で使って欲しい丁寧な言葉遣いをゲーム等を行いながら覚えることができます。 <使用法> ・両面カードをリングに止め、繰り返し覚えていきます。携帯用にブック形式にしたものもあるので、使い分けることができます。 ・片面カードの「ていねいな言い方」を机の上に広げ、読み手が「ふつうの言い方」カードを読み上げ、対応するカードを探して取っていきます。 ・「ふつうの言い方カード」と「ていねいな言い方カード」を裏返して、机の上に並べ、神経衰弱の要領で対応したカードを取ります。	国語	支援部

7	漢字と意味の かるたとすごろく		<ねらい> 3年生光村の国語の教科書「漢字の広場」に出てくる漢字と熟語の意味を学ぶことができます。 (H30年公開研修会の教材をアレンジしました。) <使用法> ・漢字カードを読んで、裏の読み方で確認します。その熟語カードの意味を隣にファイルしているので、あわせて見ましょう。 ・漢字カードを読み札にして、意味カードでかるた遊びができます。 ・すごろく版とコマとさいころを使って、すごろく遊びもできます。サイコロを振って止まったところで、漢字を読んだり意味を答えたりして学びます。	国語	支援部
8	こどもが製作した絵 本 「くだもの」 「どうぶつ」 「はな」		<ねらい> 子どもたちと美術の時間に作ったものです。読み聞かせ等に使えます。 <使用法> ・『はらぺこあおむし』の絵本の読み聞かせ後に「くだもの」、「はる」、「どうぶつ」のグループに分かれて製作しました。エリック・カールさん調に模様の紙を作り、貼り絵で絵本の世界を表現しました。子どもたちの個性溢れる絵本になりました。 ・動画としても活用できるようにしました。	国語	中学部
9	1～3の和の マッチングボックス		<ねらい> 1～3までの数字と数量を結びつけるための、手掛かりとなるように作成しました。 <使用法> ・箱の上段に提示されている数字や数の通りに、箱の下段に「数字・数カード」を分けて入れていきます。箱の上段のカードはマジックテープになっており、レベルや用途に応じて貼りかえます。「数字・数カード」は両面で、数字と数の両方が見ることができ、対象児が自分で確認したり、教師がすぐにフィードバックしたりすることができます。 レベル1: 数字のマッチング レベル2: 数のマッチング レベル3: 数字と数量のマッチング	算数・数学	小学部

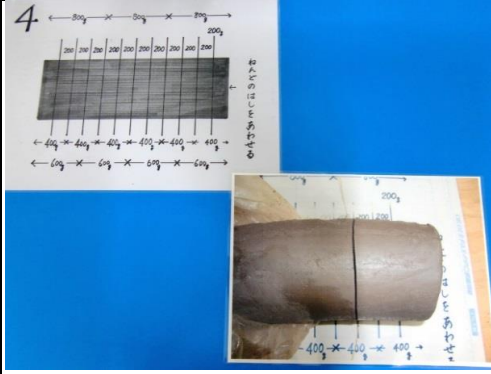
10	じゃらじゃら		<ねらい> たし算、ひき算の基礎となる、5の合成・分解を楽しく学習できるように作成しました。 <使用法> ・容器を軽く振り、中のビーズを動かします。容器の前面にあるビーズの数を見て、容器の後ろ側に隠れているビーズの数を当てます。 <成果> ・ゲーム性があるので、子どもたちが休み時間に自分から手に取っています。数の合成や分解の基礎を、楽しみながら学んでいます。	算数・数学	小学部
11	おぼえよう1・2・3		<ねらい> 3までの数を、指と数字で覚える教材です。 <使用法> ・数字に合わせて指の数をはったり、指の数に合わせて数字をはったりと交互にはり合わせて覚えるようになっています。また、はり合わせた後に、実際に指を使って数唱します。 ・色で区別し、シンプルで分かりやすいです。	算数・数学	小学部
12	棒の長さ 測り用定規		<ねらい> 棒の長短の弁別を促します。定規などの道具の操作に慣れます。 <使用法> ・棒を定規に当て、棒の長さが赤・青・黄のどの分類に当てはまるのかを確認させます、3色(赤・青・黄)のシールを貼ったペットボトルに分けて入れるようにします。	算数・数学	小学部

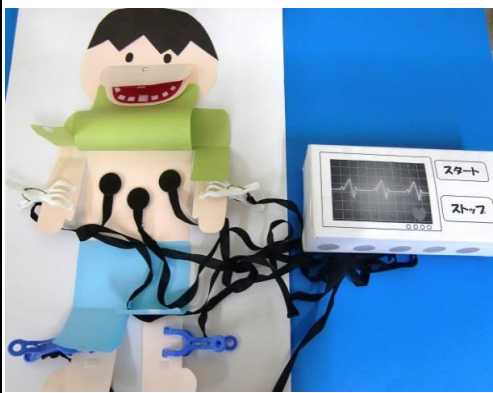
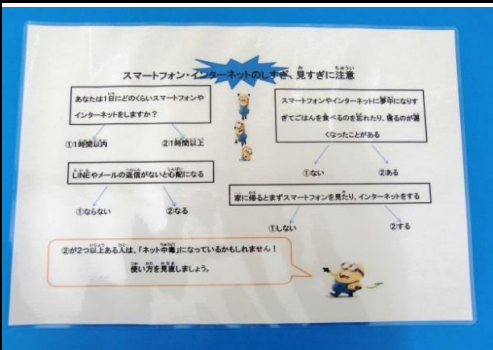
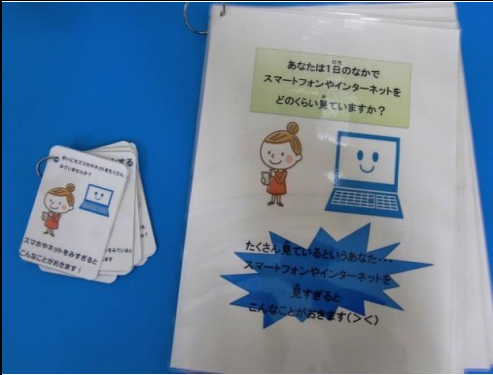
13	時計練習カード		<ねらい> 「今何時?」「今何時半?」の読む練習をするために作成しました。 <使用法> ・1時～12時までを模型の時計を提示しながらカードを探してボードに貼る練習をします。 ・1時～4時、5時～8時、9時～12時までの3種類に分けて学習したり、模型の時計で提示した時間をボードに貼る練習をしたりします。 ・プリント学習も同様に行います。 ・何時半についても同様に練習します。 <成果> ・模型とボードに貼った時間を確認しながら練習し、プリント学習を行うことで「何時」と「何時半」を読むことができるようになりました。	算数・数学	中学部
14	数学の学習用動画 （「お金」他）と学習 プリント		<ねらい> お金の学習をする時に生徒が好きな寿司の画像を活用して、数学用教材を作成しました。 <使用法> ・動画を見せながら、模型のお金を出したり、いくらになるかを考えながら、学習を進めます。 ・アニメーションは、生徒の思考にあわせて、プログラムを変えることができます。プログラムを進めたり、戻したりすることで、短時間に繰り返し学習や補充学習をすることができることが利点です。生徒に操作させて個別学習に使うこともできます。 ・授業に対応した学習プリントで学力の定着を図ります。	算数・数学	中学部
15	「おさいふの中には …」(福田商店)		<ねらい> いろいろな金種を使って計算ができるようになります。 <使用法> ・購入練習では1000円入っている財布の中から買いたい商品の金額を暗算や電卓で計算して支払いします。 ・販売練習をする側は支払われたお金からつり銭を支払ったり、販売に必要な用語の練習をします。	算数・数学	高等部

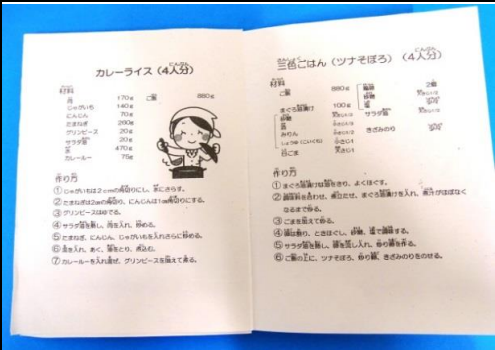
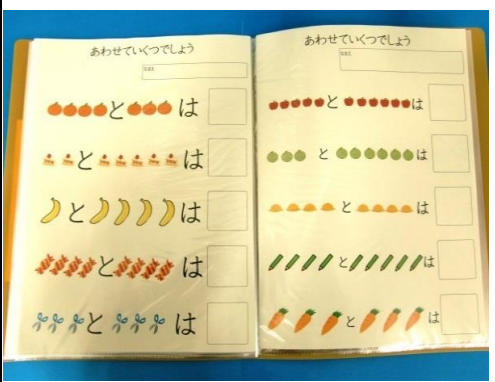
16	数の学習(5種) (①ティー ②ぼんぼん ③洗濯ばさみ ④りんご ⑤花)		<ねらい> ティー、ぼんぼん、洗濯ばさみ、りんご、花等様々な具体物を使って、挟む、入れる、挿す、並べるなどの操作を通して1から3までの数概念(量)を育てます。 <使用法> 1. ステップ1 (1)①②③を使います(①②③は、量を意識できるようにガイドがついています。)数字付きの提示物(カード・ケース等)に応じて、具体物を挟んだり、入れたり、挿したりします。 (2)次に数字カードを外して提示し、操作後、数字カードをマッチングさせます。 2. ステップ2 ・④⑤を使います。1の(1)要領で使用します。数字カードはドットつきも用意しているので、実態に応じ、数字カードを活用してください。 3. やりとりの学習も兼ねて、不足分の要求という場面設定で、「2. ぼんぼんください」「1、洗濯ばさみください」等と要求する学習に使うのもよいです。(コミュニケーションボードを併用しました) <成果> ・数唱で「1～3」と量が一致していない生徒が、数字と量が一致するようになりました。	算数・数学	支援部
17	給食がんばりカード	 その日の給食を3つの栄養群に分けて掲示しておく。	<ねらい> 好き嫌いのある児童に、食べ物の働きに着目させ、なんでも食べる意欲に繋がたいと思い、作成しました。 <使用法> ・給食の食材を、パワーアップ食材(黄色の栄養群)、筋肉もりもり食材(赤の栄養群)、風邪さんバイバイ食材(緑の栄養群)に分けて掲示します。 ・その食材を食べることができたら、バテバテマンの上に元気マンシールを貼り、変身させます。 ・児童の実態に応じて、食べさせたい食材を一つの栄養群にしぼったり、個数を限定したりすることもできます。一週間毎に評価するので、見直しをもって取り組むことができます。	日常生活の指導	小学部

18	こびとマッチング		<ねらい> 対象生徒が好きな『こびとづかん』を用いてマッチングを作製しました。細かな形の違いに目を向けることが出来ます。 <使用法> ・こびとのシルエットを見て同じシルエットにマッチングしていきます ・好きなキャラクターなので学習に意欲的に取り組みました。	日常生活 の指導	中学部
19	楽しかったこと シート		<ねらい> 言葉を発することが難しい生徒が、その日の楽しかったことを絵カード等を使って振り返り、発表できるように作りました。 <使用法> ・コミュニケーションブックと同様の使い方をします。 ・その日行った授業の絵カードを予めマジックテープに貼ります。 ・本人が頑張ったことや楽しかったことを選択し、一番下のマジックテープに貼り、先生に渡します。	日常生活 の指導	中学部
20	なきたいカード		<ねらい> 自分の気持ちをコントロールすることが難しいが、泣くことで落ち着く生徒がカードで気持ちを伝え、適切な場所で気持ちの切り替えができるようにするために作成しました。 <使用法> ・泣きたいときに、教師にカードを出します(意思を伝える)。 ・ベランダへ行って泣きます(気持ちの切り替え)。 (視覚優位なため、トイレで泣こうとした場合には、○と×のカードで示します。)	日常生活 の指導	高等部

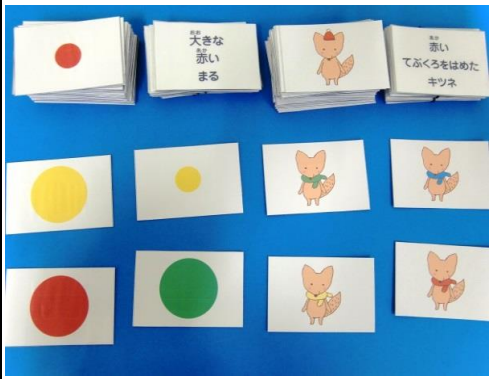
21	ある単元の振り返りシート例		<ねらい> 低学年から授業終わりに振り返り活動を行うことにより、学んだことを深く定着させます。(ある単元の一例) <使用法> ・シートに児童が簡単に記入して発表活動へつなげます。実態や状況で教師が児童の思いを汲んで代筆・代弁することもあります。 ・シートは、学習が進む度に新しく重ね貼りしていきます。単元が終わると小冊子状になります。 <成果> ・10月29日現在ではまだ使用途中ですが、振り返り活動に慣れてきて、自分で発表したり友達の発表を聞いて認め合ったりすることに効果が見られました。	生活単元学習	小学部
22	リズムジャンプDVD		<ねらい> 音楽に合わせて様々なジャンプを組み合わせています。積極的に体を動かすことでバランス感覚や運動リズムを高めることができ、運動スキルの向上に繋がります。 <使用法> ・基本的なジャンプ運動から、足を開閉しながらのジャンプ、ケンパージャンプなどを収録していますのでDVDが再生できる機器で視聴してください。 ・メニュー画面から選択しいろいろな音楽に合わせて楽しく体を動かしてください。	保健体育	中学部
23	並縫い・ボタン付け練習(こいのぼり)		<ねらい> 並縫いやボタン付けの仕方を学びます。 <使用法> ・糸を使って縫う前の練習で、毛糸を使って玉結び、玉どめ、並縫いに慣れるために使います。 ・パンチであけた穴を毛糸で縫っていきます。(並縫いの練習) ・ボタンを使つてのボタン付けをする前に、紙のボタンで練習するために使います。 ・学習する時期の行事と絡ませて、こいのぼりの形にして、子どもたちの興味を引くようにしました。	作業学習	中学部

24	作業(農業&ふりふり種まき		<ねらい> 小さな種を掴むのが難しい生徒に、容易に種がまけるように考えました。 <使用法> ・種をケースの中に適量入れて、ふりかけをかける時のようにふりふりして種をまきます。 ・種の大きさに合わせて穴の大きさを変えます。	作業学習	中学部
25	作業学習(粘土)の製作手順カード		<ねらい> 複数の手順が必要な花瓶を製作するために手元で手順が確認できるように準備したものです。 <使用法> ・写真を見ながら作業の工程を確認します。	作業学習	中学部
26	作業学習(粘土)の粘土計量の補助具		<ねらい> 土練機を通して円柱状になっている粘土を必要な分量に切り分けるために作りました。目印をつけておくことで誰が切ってもほぼ正確に計量できます。 <使用法> ・シートの上に粘土をおき、弓という切り取り用の道具で切り分けま。必要な時ははかりに載せ再計量しますが、これで大体の分量を測りすぐ作業ができます。	作業学習	中学部

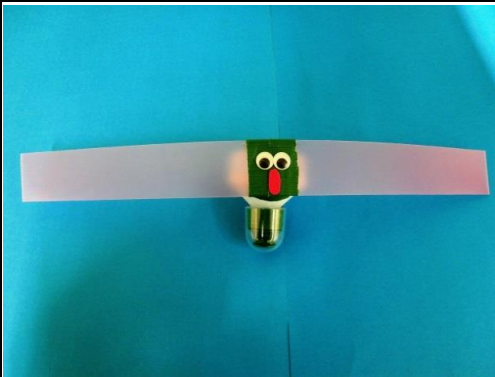
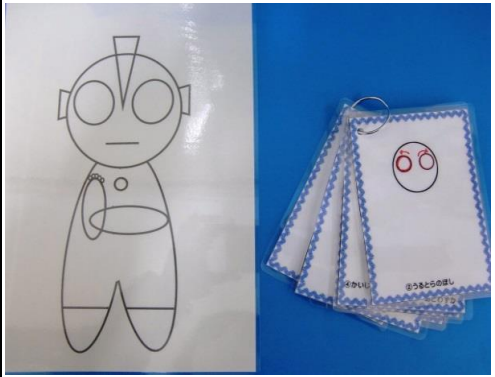
27	けんしんくん		<ねらい> 内科検診や心電図を嫌がる不安の強い子に、前もって何をするか分かるように伝え、見通しを持たせます。(ひまわり学園、小池学園の先生にアイデアをいただき作りました) <使用法> ・健診の順番をけんしんくんの紙人形で説明します。内科健診はお腹を見せ、背中を見せ、口を開けることを伝えます。 ・注射を嫌がる子には、めくり式の診察の流れを見せ、お腹→背中→喉を見て、注射をしたらおしまい、好きなご褒美があることを伝えます。 ・心電図を初めてする子は、怖がることが多いので、けんしんくんをベッドに寝せて、胸にシール、足に洗濯ばさみをつけて一連の流れを見せて伝え、怖くないよと安心させます。	特別活動	支援部
28	ネット教材1		<ねらい> 中学部・高等部向けの教材になります。生徒たちの周りにはゲーム・インターネット・スマートフォンなど多くのネット機器があふれているので、自分自身がどれだけネット依存になっているのかを自己診断してもらうために作成しました。 <使用法> ・クイズに答えていきます。	特別活動	養護
29	ネット教材2		<ねらい> 中学部・高等部向けの教材です。生徒たちの周りにはゲーム・インターネット・スマートフォンなど多くのネット機器があふれていることから、使い方によっては体に悪影響を及ぼすこと、そして外でネット機器を使用する際にはマナーを守らなければいけないことを理解してもらうため作成しました。 <使用法> ・1冊になっているので本を読むようにめくっていただけます。	特別活動	養護

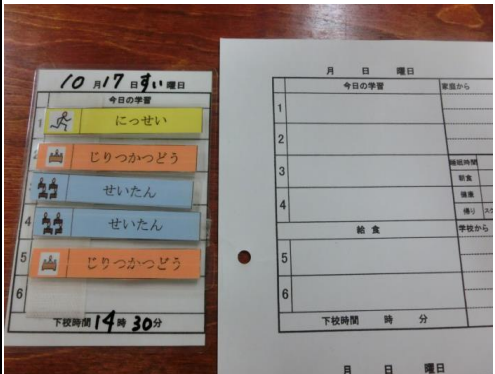
30	おすすめ給食レシピ		<ねらい> おすすめの給食のレシピを生徒たちが作りやすいようにアレンジし冊子にしました。 <使用法> ・書かれているレシピを見ながら手順どおりに作っていきます。栄養バランスが考えられた手軽でおいしい料理が出来上がります。	特別活動	栄養
31	小学一年生の学校生活手順表		<ねらい> 一つ一つの活動に見通しをもち、落ち着いて行動でき、学校生活の流れに慣れることをねらっています。 <使用法> ・各担当職員が児童の実態や必要に応じて提示します。 <成果等> ・自閉傾向が強く、入学前の運動会では不安定になっていた児童が、2学期始めから視覚支援を行うことで、スムーズに参加できました。	自立活動	小学部
32	学習プリント集		<ねらい> 学習の定着を図るために繰り返しの学習に活用するプリント教材です。 <使用法> ・動作を表す言葉の学習では、イラストを手がかりにして平仮名を読み、なぞって学習します。絵と単語を線でつなぐプリント教材もあります。 ・漢字の学習プリントでは、漢字の意味をイメージするイラストを意識しながら、繰り返し書いて学習することができます。 ・数の学習プリントでは、具体物を使った学習の次の段階として、数を数えてシール貼ったり、数字をなぞったりすることを繰り返し学習することができます。 ・足し算の学習プリントでは、具体物での学習の次の段階として、「合わせていくつ」の学習を繰り返すことができます。	自立活動	小学部

33	チョコレートをかぞえよう		<ねらい> ・数の合成の理解を促します。 <使用法> ・ボードの数字を見て、正しいチョコチップを貼り、答えを導き出すことができます。 ・教師が「□+□はいくつ?」と問いかけ、チョコチップを貼り、チョコの数を数えます。 ・教師と一緒に「□たす□は□」と計算式を声に出して読みます。 <成果> ・ボードを使わずに10までの足し算ができるようになりました。「0」の概念も理解できました。	自立活動	小学部
34	先生ことばカード		<ねらい> 今年度、公開講座で作った、敬語カードを参考にさせていただき、学年の児童に合わせて、丁寧語カードを作りました。 <使用法> ・「友達ことば」の面を向けて、児童に丁寧語である「先生ことば」を考えさせます。 ・慣れてきたら、複数の児童で唱和させ、丁寧語を話す機会を増やします。 <成果等> ・自立活動以外でも、丁寧語が使えるようになりました。	自立活動	小学部
35	紙コップタワー		<ねらい> 自立活動の対象児2名で協力して活動できることがねらいです。 <使用法> ・紐の長さを変えたり、紐の本数を増やしたり、見本どおりに並べたりなどして教材を発展させて難易度を上げます。 ・紙コップに引いている紐の結び目を一人ずつ持ち、ピラミッド型になるように、二人で呼吸を合わせたり声を掛け合ったりして積み上げます。 <成果> ・お互いに「次はここに置くよ」「引っ張って」などと声をかけながら活動する様子が見られるようになりました。また、失敗しても「もう一回しよう」「大丈夫」などの言葉も掛け合うようになりました。	自立活動	小学部

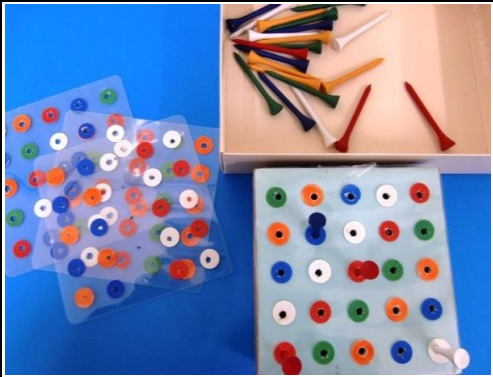
36	同じ色を見つけて ピンをはめよう		<ねらい> ピンをはめたり、外したりすることで手指の巧緻性を高める学習です。5つの色を弁別しながら学習します。 <使用法> ・アンパンマンの好きな児童が興味をもって学習できるように作りました。数種類のカードの中から1枚を選び、同じ色のシールの上に洗濯ピンをはめます。ピンの形やサイズを変えて練習すると、自分なりに工夫して取り組めるようになってきました。 <成果> ・徐々に手指の力が強くなり、楽しみながら学習できています。	自立活動	小学部
37	聞く聞くカルタ (SST)		<目的> 集団の中で「話を最後まで集中して聞く」ことを目的として作成しました。友達とゲームのようにして取り組むことで、楽しみながら聞く力をつけることができる教材です。 <使用法> ・3～4人ほどで一つのグループを作ります。お題を教師(読み手)が読みます。「①クマです」「②手袋をしています」「③赤い手袋です」のように、3つのヒントをだして、該当するカードを選択します。最後まで話を聞かないと、カードを選択することができません。	自立活動	小学部
38	わくわくフィッシング		<ねらい> 魚釣りのゲームを応用して、教科のシンボル、数字、自分の名前の文字などを釣っていきます。ゲームを楽しみながらシンボルや数字、文字を覚えることができます。 <使用法> ・釣竿の先が磁石になっていて、「〇〇を釣って下さい。」などと指定した物を釣っていきます。また釣竿を数本用意して、数人で競争しながらゲームを楽しめます。 ・釣るものについては、「天気」「色」「形」など無限にカテゴリーを広げることができます。	自立活動	小学部

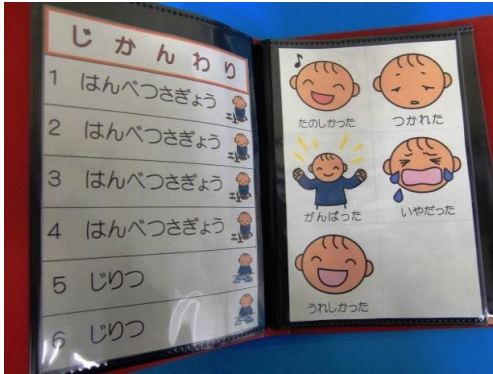
39	おかいものごっこを しよう		<ねらい> 「100円が何枚で何百円」の学習をしている児童を対象に、教師や友達と関わりながら、お金の学習ができるように工夫しました。児童が楽しめるよう、イラストや食べ物消しゴムを使用しました。 <使用法> ・お店屋さんとお客さんに分かれまます。 ・100円シールが何枚か数え、シートの上に並べます。 ・数が合っていたら、お店役はお客役に品物を渡します。 ・役を交代するときは、首かけを交換します。	自立活動	小学部
40	つまもう！ あわせよう！		<ねらい> 手指の巧緻性を高めることを目的として教材作成を行いました。また、シールを貼ることで、色のマッチングを同時に行えるようにしました。 <使用法> ・箱の中に入れたクリップを同じ色のシールが貼ってある位置に取り付けます。そのときに、親指と人差し指の2本の指でクリップを挟むように支援します。	自立活動	小学部
41	ひも結びしよう (スニーカー)		<ねらい> 蝶結びが苦手な児童のために作成しました。 <使用法> ・一足は結ばれたままにしておき、片方の紐通しをします。 ・隣のスニーカーを見て、穴に気をつけながら通していきます。 ・最後に蝶結びをします。その時に、片方の蝶結びを教師が、もう片方を児童が行い、教師がするのを見ながら、蝶結びできるようにしています。(最初の頃は手を添えて一緒に蝶結びしていました。) 蝶結びが終わればスニーカーの完成です。	自立活動	小学部

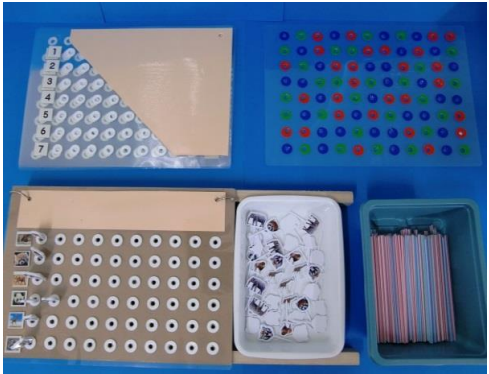
42	T-ao		<ねらい> 口元がしまりにくく、よだれが垂れてしまうような児童の表情筋を鍛えるために作りました。 <使用法> ・飲み口を口でくわえ、頭を上下に振ります。(羽が上下に揺れる程度) ・羽に描かれた顔と同じ表情をするよう促します。 ・飲み口をくわえるとき、噛まずに唇でくわえるようにします。 ・キャップは取り外し可能で、使用後は洗えます。 ・羽の端に重りとしてクリップなどをつけると、負荷が変わるのでレベルアップできます。	自立活動	小学部
43	SSTすごろく		<ねらい> すごろくをしながら、生活の中の運動や対話、生活習慣などのスキルを学習することを目的とします。 <使用法> ・サイコロの目の数だけ進み、コマが止まった枠と同じ色のカードを引いて、書いてあるお題に沿って答えます。カードのお題は、「あいさつ」「かお」「うんどう」「じこしょうかい」の課題別に分けて取り組めるようにしました。また、「?カード」には、様々なお題を用意しました。 ・サイコロのやりとりは「どうぞ」「ありがとう」の言葉かけと共に行い、友達とのコミュニケーションをとりながら行っています。 ・コマは、子どもの顔写真カードや好きなキャラクターのコマを用意して、毎回どのコマを使うかも楽しみながら選んでいます。	自立活動	小学部
44	えかきうた～ウルトラマンをかこう～		<ねらい> 描く活動が好きな児童で、これまでなぞり書きや点つなぎに取り組んできました。さらに楽しみの幅を広げるために、好きなウルトラマンの絵を描く活動に取り組みました。「帰ってきたウルトラマン」の歌を歌いながら書くことで意欲や集中力、表現力を高めることをねらいとしました。 <使用法> ・左ききのため、歌詞と手順が書いてあるカードを右側に置いてそれを見て教師と一緒に歌いながら描いていきます。なぞり書き→点線→点つなぎ→徐々に自分で描けるように段階をつけて取り組んでいます。	自立活動	小学部

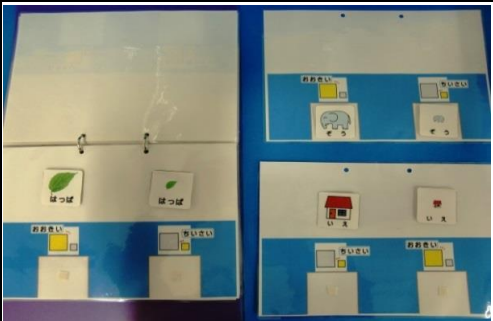
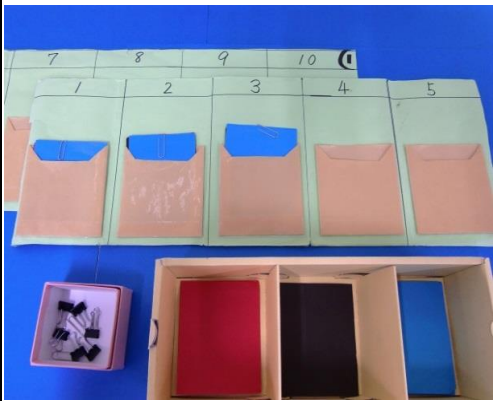
45	練習用軍手		<ねらい> 農業の時に、一人で軍手を付けることができない生徒用に練習用の軍手を作りました。 <使用法> ・親指部分に親指と人差し指を一緒に入れないように、親指部分を二重にしました。また、親指部分を意識できるように色を変えました。 ・♪マークを見ると「コンサート」と言って喜ぶので、親指以外の各指に♪マークを付けて、一本ずつを意識できるようにしました。 ・一つの軍手で左右の練習ができるように、両面に♪マークを付けました。	自立活動	中学部
46	時間割の見本		<ねらい> 連絡帳の時間割り欄を自分で書くことができる生徒が、正しい文字で大きさを調整して書くことができるようにするために作成しました。 <使用法> ・翌日の授業の時間割りカードを貼りかえます。 ・行事などの場合はマジックで記入します。 ・日付などはマジックで記入します。	自立活動	中学部
47	紐結び練習ボード		<ねらい> 止め結び、超結びを練習するために作成しました。 <使用法> ・左右の紐の色が違うので「右手は黒」「黄色の紐を持って」と具体的に説明をしながら結ぶことができます。 ・上靴を履いたまま足を入れることができるので、靴紐を結ぶ練習にも使用できます。 <成果> ・生徒がどの紐を持てばいいのかがわかりやすくなり、落ち着いて最後まで練習しています。	自立活動	中学部

48	すごろく		<ねらい> SSTカードでA集を学習し終わったので、すごろくゲームを通して、対人でコミュニケーションの練習をするために作りました。 <使用法> ・通常のすごろくと同様に遊びます。止まったマスと同じカードのお題を行います。 ・「あいさつの島」「自己紹介の島」「みんなとなかよくなる島」「場に応じた会話の島」があり、合格しないと島から脱出できません。 ・相手の顔を見たり、相手に届く音量を知ったりする練習になればいいと思います。	自立活動	中学部
49	クリップ練習セット		<ねらい> クリップの使い方を習得するための教材です。 <使用法> ・クリップを同じ色の画用紙に留めます。 ・ラミネートした画用紙が留められるようになったら、コピー用紙や複数枚重ねた紙で練習します。	自立活動	中学部
50	履いて練習 スリッパ蝶結び		<ねらい> 履いて、ひも靴のように足元で蝶結びの練習することができる教材です。 足元で蝶結びすることで、本番に近い体勢での蝶結びを練習することでより効果的に靴ひもを結ぶ練習ができるのではないかと考え作りました。 <使用法> ・上達に合わせてひもの種類を代えるなどの工夫ができます。また、かわいいひもをつけることで普段使いもできます。	自立活動	中学部

51	ペグさし		<ねらい> 手元を見て集中して取り組むこと、色の分別を促すことをねらいました。 <使用法> ・4種類のシートがあります。箱の上に一枚ずつ置いてテープで固定します。4色のペグと同じ色の穴にペグを差し込みます。ペグを抜くときはペグがまっすぐになっていないと抜けないようになっています。	自立活動	中学部
52	コミュニケーションブック		<ねらい> 発語が難しい生徒に、自分の思いをカードを貼って伝えられるように作りました。 <使用法> ・作業の振り返りや、今に気持ちを自分でカードを選び文章バーに貼って相手に渡して、気持ちを伝えたりします。 ・また、今、やりたいことなども、本人の興味関心のあるカードを作り、バーに貼って、相手に伝えたりもします。	自立活動	中学部
53	二つに分けて入れよう		<ねらい> コインとビー玉を二つの箱に分けていくことで、目と手の協応と物を弁別する力をつけていきます。 <使用法> ・箱からコインとビー玉を取り出し、それぞれ入り口の異なる二つの箱に分けて入れていきます。ビー玉の入り口は、少し穴を小さくしているため押し込む指先の力が必要となります。 <成果> ・ビー玉やコインが落ちる音が好きで、箱の中身がなくなるまで集中して作業しています。終わったたら「できました」と報告もしています。	自立活動	高等部

54	ふりかえりブック		<ねらい> 学習の振り返りをしたり自分からコミュニケーションをとったりするための教材です。 <使用法> ・生徒が帰りの会で一日の学習の振り返り時に使用しました。(例: 5時間目の音楽が楽しかったですなど…) ・帰りの会に限らず、作業学習や他の学習時(高等部は担任と離れることも多いので)も、自主的にブックを持って移動教室へ行けるようになっています。 <成果> ・発音がはっきりせず、なかなか人へ伝わりにくいですが、ブックを使用することで、積極的に発言できるようになってきました。	自立活動	高等部
55	「ください」カード		<ねらい> 自発的な要求言語がなかなか出ない生徒のコミュニケーション練習用に作成しました。 <使用法> ・給食の時間に使用します。台紙に必要なカードを貼り付け、それを相手に手渡すことにより、自分の意思を伝えます。 ・受け取った相手は、貼り付けられているカードを声に出して読み上げ、モデルを示します。その後、一口量の給食を空の皿にのせます。 <成果> ・1ヶ月程度で、自発的にカードを差し出し、「○○ください」と自発的に言う様子が見られました。	自立活動	高等部
56	リラックス アクアリウム		<ねらい> 疲れたときなどに眺めてリラックスできるものがあれば、と思い作りました。 <使用法> ・ペットボトルを振ったり上下に入れ替えたりすることで様々な動きのビーズを眺めます。 ・ビーズの種類によっては、浮かぶものもあれば沈むものもあります。沈むスピードも違います。いろんな種類のビーズを入れることで、人それぞれ違ったアクアリウム作品を作ることができます。「これは沈むかな？」など予測を楽しみながら作ります。	自立活動	高等部

57	ペグさし学習台		<ねらい> 手指の巧緻性や弁別、数の学習など土台シートを取り替えるだけで様々な学習に対応することができる台を作りました。 <使用法> ・児童生徒の実態に応じてシートを取り替えるだけで課題を作ることができます。 ・木材と有孔ボードを釘で固定すると強度が増すので長持ちします。	自立活動	高等部
58	上手につたえよう		<ねらい> 形や色を表す言葉を使って、相手に分かりやすく言葉で伝える力や相手の話をよく聞く力をつけていきます。 <使用法> ・二人組みになって、間についた立などをしてお互いの絵が見えないようにします。一方が、キャラクターの姿(帽子やめがね等)をヒントカードにある形や色を表す言葉を使って伝えるようにします。一方が、相手の言葉をよく聞いて、イラストのパーツを貼ってイラストを作っていきます。相手に聞き返したり、確認し合ったりして完成させていきます。	自立活動	高等部
59	気持ちを落ち着ける すごろく		<ねらい> 怒ったり、イライラしたりしている気持ちがMAXになったり、落ち込みすぎたりしないよう、すごろくで遊びながら自己コントロールの方法を身につけます。 <使用法> ・すごろく板の横に、ピンク、クリーム色の取り札を山にして置きます。さいころを振って出た数だけ進めます。クリーム色で止まったら、クリーム色の取り札を取って、ピンクで止まったらピンクの取り札を取って、それぞれ答えましょう。うまく答えられない時は、「手伝ってください」と言うことを教えましょう。手伝ってくれた友だちには「ありがとう」と言うよう促します。 ・「ADHDの人のためのアンガーマネジメント」(高山恵子監修 講談社2016)を参考にしました。	自立活動	支援部

62	大きい・小さい		<ねらい> 「大きい」「小さい」の言葉の理解を促します。具体物の操作などで言葉を少し理解しはじめた児童に定着を図るために作りました。 <使用法> ・ドロップレットのシンボルを手掛かりに、大小のものを分けていきます。 ・分け終えた後、「大きいえ」「小さいおにぎり」など言葉にして確認していくようにします。 ・ファイル形式にしているので、終了の見通しが持ちやすいです。	自立活動	支援部
63	まとめて綴じよう		<ねらい> 紙をまとめて、クリップ類で留めるアカデミックスキルを育てます。課題の中で、教具等の不足分の要求や援助要請を自発的に促す場面設定ができ、コミュニケーションの向上も図れます。 <使用法> ・提示されたように紙を順番に1枚ずつ重ねまとめた3枚をダブルクリップやゼムクリップで留めて、ホルダーに入れていきます。子どもの実態に応じ、紙の枚数、量の調整を行います。またクリップも子どもの実態に応じ、種類の工夫をします。ホルダーで取組む量がわかり、見通しが持ちやすくなります。 ・コミュニケーションブックを併用しながら、クリップや紙などの個数を少なくしておき、「クリップください」などの不足分の要求やまだうまくクリップが留められない子どもには「手伝ってください」などの援助要請を促しています。	自立活動	支援部
64	分けてみよう		<ねらい> 身近なものの名称や動作語などを理解している子どもへ、次のステップとして、属性や上位概念を育てます。 <使用法> ・仲間わけをさせていきます。はじめは、1, 2枚見本を置いておくとうわかりやすいと思います。少しずつ分類量を増やしていきます。 ・確認作業としてたとえば「めだか」、「きんぎょ」、「みんな水の中を泳ぐ」、「魚の仲間」等言語化することが大切だと思います。 ・ファイル形式なので終了がわかりやすいです。 ・展開教材として、昨年度紹介した「あるあるなあに」ゲームが使えます。	自立活動	支援部

65	発表うちわ		<ねらい> 発表の仕方のモデルを提示したうちわです。これを見ながら、発表することで発表の仕方の理解を促します。 <使用法> ・例えば「果物はどれですか？」の問いに、提示カードから、答えを選び、あらかじめ「～は、果物です」と提示されているうちわに貼ります。そして、その団扇を持ちながら発表させるようにします。 ・団扇なので、親しみやすく、持ちやすいです。	自立活動	支援部
66	はえたたきゲームをしよう		<ねらい> マジックテープがついたはえをはえたたきでたたき、はえを捕まえることができるようにします。目と手の協応の力を伸ばします。 <使用法> ・テーブルの上にはえを並べ、はえたたきではえを捕まえるようにします。捕まえたはえは、何匹捕まえられたか分かるようにかご等に入れておくとよいと思います。 ・ゲームは、対抗戦でしたり、時間制限制でするとよいでしょう。	自立活動	支援部
67	ドラえもんチャレンジ		<ねらい> 目と手の協応動作の向上や人間関係の形成をねらいます。 <使用法> ・テニスボールを投げて箱などに入った数で点を得ることができます。生徒の能力に応じて投げる位置を変えて人によって差が付きにくくすることで皆が楽しめます。 ・テニスボールは10個準備します。投げ方は壁に当てて跳ね返っても、直接入れても、バウンドして入れても大丈夫です。得点はどこに入れても1点です。 ・ゲームは、1度目は練習させて、児童・生徒の能力を確認してボールを投げる時の椅子の距離を調整します。本番ではボールが入った数だけシールを渡し、それを枠の中にきれいに貼るまで行います。	自立活動	支援部

68	ビック紙相撲をしよう		<ねらい> 紙でできた力士が倒れないように、「そっとたたく」「強くたたく」等、力の入れ具合を調節して、手指を使うことができることを考えました。 <使用法> ・好きな力士を選び、土俵の上に立たせます。行司の合図で手のマークの場所をたたきます。相手側の力士が倒れたら勝ちとなります。 ・たたく場所を2人分作ってあるので、友達と協力して活動することもできるようになっています。 ・1対1でしたり、2対2でしたり、バリエーションを付けて遊ぶことができます。 ・慣れてきたら、自分たちで、力士を作ったり行司の役をしたりして、「紙相撲大会」を開くと発展的な活動ができると思います。	自立活動	支援部
69	ステップ台		<ねらい> ステップ台を使って、様々なステップを踏んで楽しく体を動かします。ステップ台を昇り降りするので、歩くだけよりも運動負荷が高まります。 <使用法> ・1曲、流れる間、昇り降りします。重度の子ども達にも繰り返しことで見通しを持ちながら、取り組むことができます。 ・段差のある動きに慣れてきたら、ステップ台に赤、白、黒色のテープを貼ってあるので、その印を手掛かりにしながら、マンボステップ、V字ステップなど動きを少し変えることで、楽しさが増します。 ・滑るので、必ず滑り止めシートを敷いて、安全を確認してから使うようにします。	自立活動	校務
70	会話手帳		<ねらい> 学校で言葉を発することが困難な生徒が、好きなテレビ番組について会話をするためのアイテムです。 <使用法> ・お気に入りの台詞を選んで教師に伝えます。 ・言葉と絵のマッチングをします。 ・新たにファイルされた番組情報を読んで楽しめます。 <成果> ・自発的に手帳を開き、興味のある箇所を教師に示すようになりました。	特別活動	中学部